

令和元年度決算報告

●問合せ 企画財政課 財政係 ☎73-9152

令和元年度うきは市の一般会計・特別会計の決算が9月議会で認定されましたのでお知らせします。昨年度は、普通会計（*1）の実質収支において3億1,428万円の黒字となりました。

普通会計では、歳入総額168億1,347万円、歳出総額164億2,548万円、差引3億8,799万円が令和2年度へ繰り越されました。歳入・歳出の状況については次のとおりです。（端数処理により、構成比率合計が合わない場合があります。）

市の財政状況

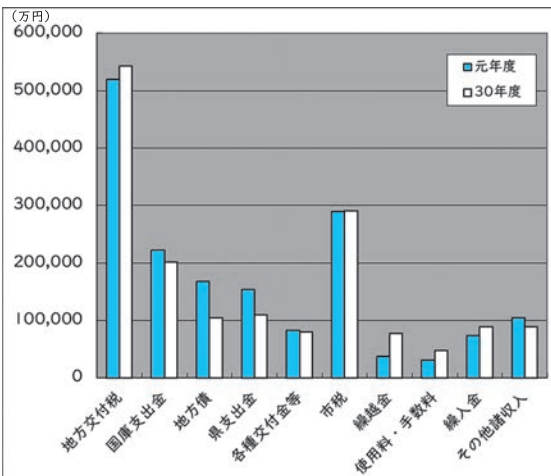
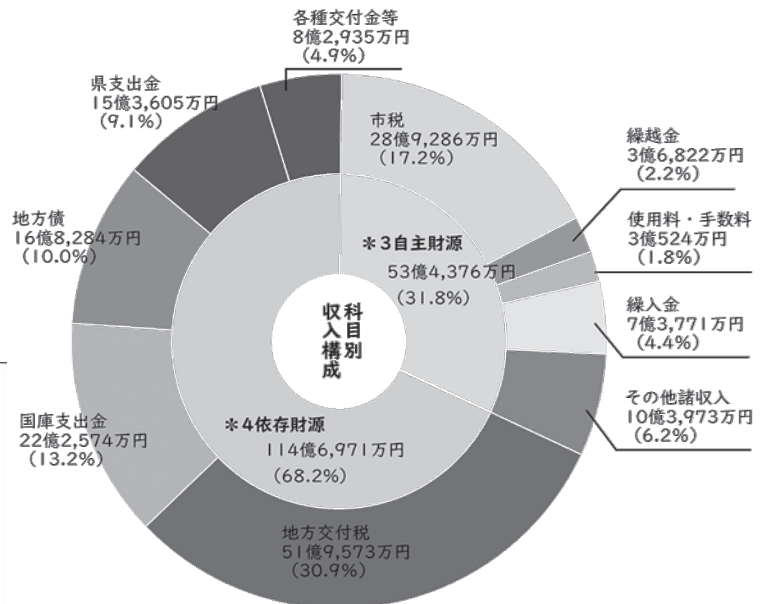
普通会計における、うきは市の借金（地方債）は、前年度から1億6,007万円増加し、126億6,310万円になり、市民1人当たり約43万6千円になります。貯金（基金）は1億2,226万円減の114億5,068万円で1人当たり約39万4千円になります。財政構造の弾力性を判断する指数である経常収支比率（*2）は前年度から6.4ポイント減少し91.7%になっています。

市の財政状況は、地方交付税の減少や新型コロナウイルス感染症における市税の減収が見込まれ、今後も厳しい財政運営が求められます。こうした状況の中、財政健全化法に基づき全事業で事業の適正化・見直しを行い、行財政の簡素効率化を推進し、住みよいまち・うきは市の実現を目指します。

歳入 総額（普通会計）168億1,347万円・・・前年度に比べて3.1%増（5億1,063万円増）

市税の内訳

税目	収入額(万円)	1人当たり(円)
市民税	116,859	40,214
固定資産税	140,191	48,244
軽自動車税	11,929	4,105
市たばこ税	19,683	6,773
計	288,662	99,337
入湯税	624	



歳入は、市税が歳入全体の17.2%にあたる28億9,286万円（前年度比0.4%減）になっています。その要因としては、市民税が3,064万円減少したことによります。

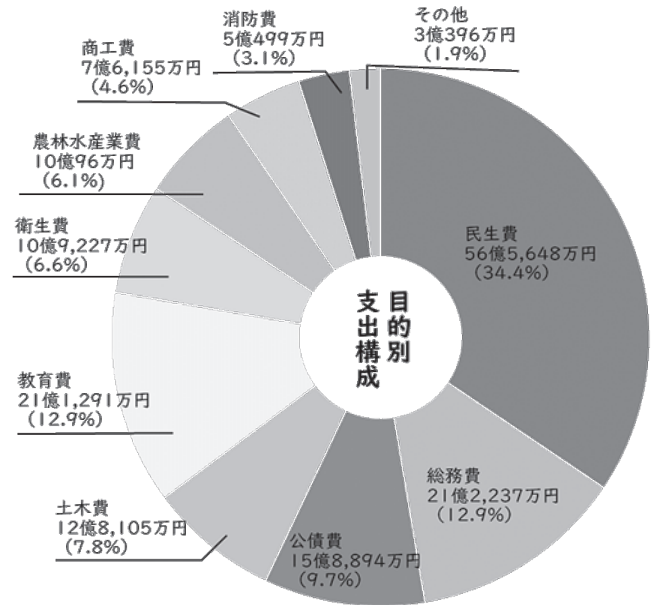
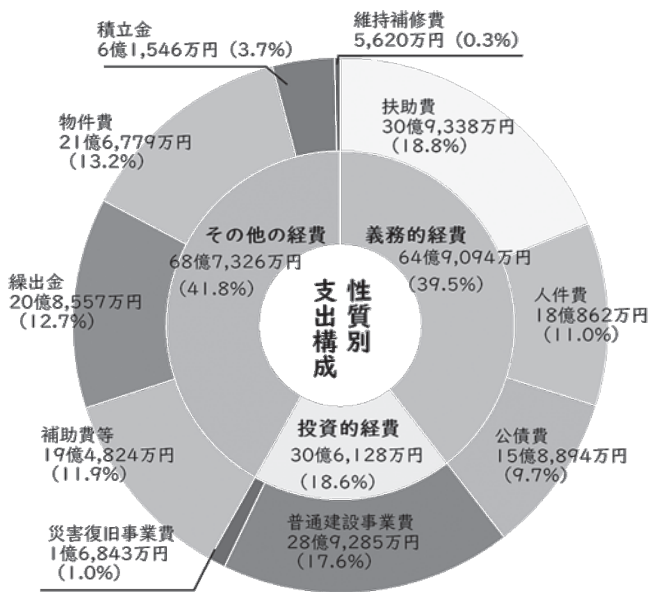
また、歳入全体の30.9%を占める地方交付税は、51億9,573万円（前年度比4.3%減）になっています。地方債は歳入全体の10.0%にあたる16億8,284万円（前年度比62.2%増）を借り入れ、その主なものは、合併特例事業債（9億9,770万円）です。

★ひとくちメモ／用語解説

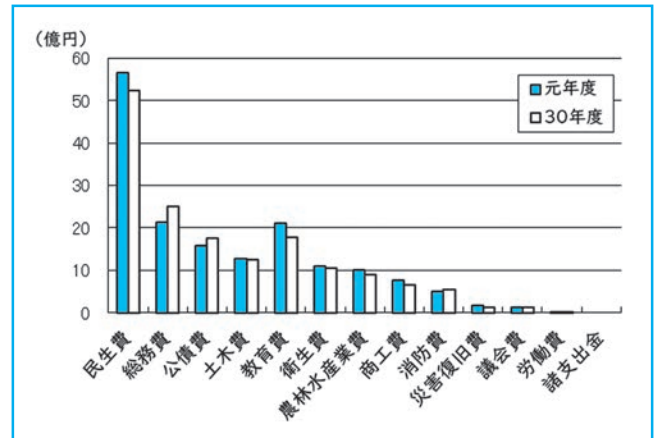
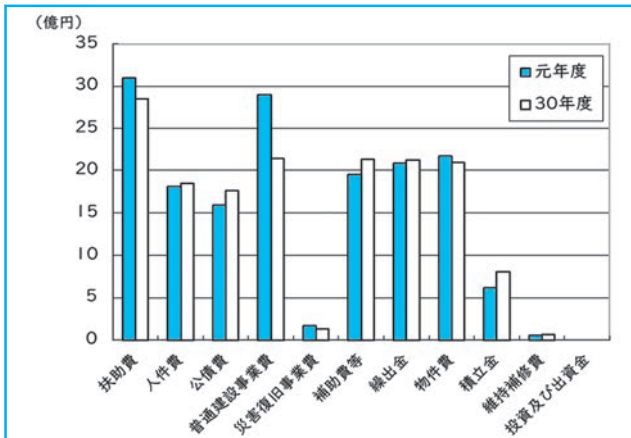
- *1) 普通会計 統計上の比較のための会計。うきは市では、「一般会計」「住宅新築資金等貸付事業特別会計」「自動車学校特別会計」を合算したもの。
- *2) 経常収支比率 市税や普通交付税など毎年度恒常的に収入され、自由に使える財源が人件費・扶助費など経常的経費（毎年度継続して支出される経費、行政運営上必要不可欠な経費）にどれだけ使われたかを示す比率。数値が低いほど財政構造の余裕を示す。
- *3) 自主財源 市で自主的に収入できる財源
- *4) 依存財源 国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりして収入する財源

歳出

総額（普通会計）164億2,548万円・・・前年度に比べて3.0%増（4億7,380万円増）



30年度と比べてみましょう！



歳出は、人件費・扶助費・公債費の義務的経費が全体の39.5%の64億9,094万円（前年度比0.6%増）となっています。建物や道路などの施設整備等にかかる投資的経費は、全体の18.6%の30億6,128万円（前年度比34.6%増）となっています。増加の主な要因は（新）生涯学習センター建設事業によるものです。

歳出を目的別に見ると、民生費が56億5,648万円（前年度比8.2%増）で、総務費が21億2,237万円（前年度比15.5%減）、公債費15億8,894万円（前年度比9.7%減）、教育費21億1,291万円（前年度比19.5%増）となっています。教育費が増加した要因は（新）生涯学習センター建設工事によるものです。

積立金現在高

(万円)

普通会計	元年度末	30年度末	年度内増減
財政調整基金	505,403	490,013	15,390
自動車学校財政調整基金	29,241	28,296	945
公共施設等整備基金	144,998	145,346	△348
（合併）振興基金	134,471	132,195	2,276
減債基金	75,438	104,427	△28,989
地域振興基金	81,866	80,153	1,713
地域福祉基金	55,652	54,766	886
ふるさと創生基金	36,211	33,749	2,462
山村地域振興基金	8,709	9,160	△451
森林整備担い手対策基金	26,844	26,868	△24
水源かん養事業基金	2,481	7,771	△5,290
ふるさと・まごころ基金	30,005	31,829	△1,824
その他基金6件	13,749	12,721	1,028
合計	1,145,068	1,157,294	△12,226
土地開発基金（現金等:万円）	38,100	37,757	343
（土地：㎡）	3,139	3,139	0

地方債残高

(万円)

会 計	元年度末	30年度末	年度内増減
一般会計	1,266,310	1,250,266	16,044
住宅新築資金等貸付事業	0	37	△37
普通会計 合計	1,266,310	1,250,303	16,007
簡易水道事業	10,121	9,894	227
下水道事業	972,306	1,018,502	△46,196
浄化槽整備事業	14,787	15,217	△430
合 計	2,263,524	2,293,916	△30,392

特別会計の決算状況

(万円)

特別会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険事業	390,453	383,713	6,740
後期高齢者医療事業	47,937	47,763	174
簡易水道事業	2,320	1,116	1,204
下水道事業	127,462	113,518	13,944
農業集落排水事業	1,737	1,028	709
浄化槽整備事業	5,146	3,186	1,960

令和元年度主な事業

決算額（単位：千円）

①将来のうきは市を担う人を育み、大切にしています

・民間保育所運営費（うきは幸輪保育園委託料他）	667,551
・幼稚園就園奨励費	9,249
・不登校児童生徒適応指導事業	6,511
・放課後児童対策費	63,508
・地域子育て支援事業	27,771
・人権・同和教育費（人権セミナー他）	5,661
・かがやく“ひと”育成事業（うきは市民大学開講費他）	5,649
・うきはっ子の豊かな心育成事業	4,240
・小学校空調設備設置工事等事業	233,244

小学校空調設備設置工事等事業



近年における夏の猛暑のため、市内の全ての小学校に空調設備（エアコン）を設置し、快適に勉強できる環境を整備しました。

②活力にあふれ、まち全体がにぎわっています

・農業ブランド化推進事業	38,992
・商工会各種事業費補助金	25,251
・木材利用促進助成事業費補助金	6,100
・久留米・うきは工業用地造成事業負担金	274,584
・観光促進事業	16,670
・「うきは」まるごとサテライトワーク推進事業（U-BiC整備事業）	36,738
・労働諸費（うきは市無料職業紹介所）	4,115
・農業次世代人材投資事業費補助金	26,076
・木材関連産業活性化事業費	14,762
・歴史環境検証事業	15,487

U-BiC整備事業



企業のテレワークを推進し、新しい働き方に対応するため、U-BiCの2階を整備し、セミナーや窓口相談を行いました。

③誰もが生き生きと安心して健康に暮らしています

・一般介護予防事業（介護予防サポーター養成事業他）	12,975
・母子保健事業（妊婦健診委託料他）	29,737
・予防接種費	91,464
・総合健診等委託料	34,465
・障害者自立支援対策事業	919,965
・包括的支援事業	55,606
・ふれあい入浴補助券給付費	3,794
・食育対策事業（食育推進教室委託料他）	2,423

母子保健事業



妊娠中から子育て期の切れ目のない支援体制を構築し、安心して出産・子育てを支援するため、子育て世代包括支援センター「うきくる」を設置しました。

④安全で安心なまちで、住みよさを実感しています

・道路維持補修費	138,969
・地方路線バス対策費	14,803
・空き家リフォーム補助金	6,997
・伝統的建造物保存対策事業（保存対策補助金他）	22,687
・うきは久留米環境施設組合負担金（し尿・ごみ）	505,819
・各種ごみ収集等委託料	111,822
・空家等対策推進事業	7,778
・防災対策費	12,304
・防犯対策費（防犯灯設置費補助金他）	6,261

防災対策費



新たに携帯版防災情報ホームページを立ち上げ、集中豪雨や台風等の災害時に速やかな情報発信を行います。

⑤みんなの力で協働して支えるまちづくりを進めています

・地域づくり活動費補助金	3,137
・ふるさと創生事業（個性あるまちづくり事業費補助金他）	4,017
・地域コミュニティ支援事業	109,587
・広報費（広報うきは印刷製本費他）	7,163
・徴収対策アドバイザー謝金	1,200
・コンビニエンスストア収納業務委託料	2,589
・（新）生涯学習センター建設事業	634,725

（新）生涯学習センター建設事業



「るり色ふるさと館」子育て世代が語り合える場、生きがいづくり・健康づくり・絆づくりの場としてご活用ください。

地方自治体の財政状況を見極める4つのものさし 財政健全化判断比率（健全化4指標）

	うきは市	早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準
実質赤字比率	-	13.62	20.00
連結実質赤字比率	-	18.62	30.00
実質公債費比率	10.6	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

(注) 「-」：実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字でないため「-」で表示しています。将来負担比率は、将来負担額を充当可能財源が上回るため「-」で表示しています。

財政健全化判断比率とは

「財政健全化法」により、自治体は財政に関する4つの指標（実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率）を公開し、財政状況の改善に取り組むことが求められています。4指標のうち1つでも早期健全化基準を超えると「早期健全化団体」とみなされ、財政健全化計画の策定が義務付けられます。また将来負担比率を除く3指標が悪化して1つでも財政再生基準を超えると「破たん」と見なされ、国の関与のもと財政的な制限が行われます。

【実質赤字比率】

福祉や教育など、自治体の行政運営の基本的な経費をまとめた「普通会計」の赤字の程度を測る指標です。

【連結実質赤字比率】

「普通会計」と下水道事業や国民健康保険事業などの「特別会計」を合算（連結）して、赤字の程度を測る指標です。

【実質公債費比率】

自治体の財政規模に対して、借入金（地方債）の返済額の程度を測る指標です。

【将来負担比率】

自治体の財政規模に対して、将来どの程度借入額などの支払残高があるのかを測る指標です。

令和元年度のうきは市
決算を診断してみると…



うきは市総合計画（後期）等にご意見をお寄せください パブリックコメント募集



令和3年度から5年間を計画期間とする「第2次うきは市総合計画後期基本計画」「第2期うきは市ルネッサンス戦略」の素案を取りまとめましたので、皆さまのご意見を募集します。

総合計画：全ての計画の基本となる最上位計画であり、基本施策を示したもの
ルネッサンス戦略：地方創生の取組を示したもの

◆計画（素案）の閲覧方法

募集期間中に、企画財政課または市のホームページで見ることができます。

◆募集期間 **令和2年11月6日（金）～20日（金）**まで

◆提出方法 任意の様式に【①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤意見】を書いて持参・郵送・FAXまたは電子メールで企画財政課企画調整係へ提出してください。

●問合せ 企画財政課企画調整係 ☎73-9152 FAX75-5509
e-mail kikaku@city.ukiha.lg.jp

※提出書類は返却しません。個人情報については、市個人情報保護条例に基づき適正に管理します。寄せられたご意見は計画策定の参考にさせていただきますが、個別の対応はいたしません。

